

葛飾区長選挙 政策一覧表

基本的な考え方

課題を解決するための重要政策

コロナ対策
について

青木かつのり

第5波は収束しつつありますが、第6波に備えることが必要です。さらに、次の新たな感染症の発生拡大に備えて、区では保健所を中心に機動的に対応できる体制を作ります。また、区民のみならずとともに、感染症が発生した場合も想定した危機管理を進めていきます。

今後の経済
の充実につ
いて

産業支援策はもとより、子育て支援や福祉、教育施策などのサービスを充実するとともに、新たな交通手段やまちづくり事業とも合わせて良好な住環境をつくり、定住人口の増加を図ることで地域経済の活性化につなげていきます。また、多くの来訪者でにぎわいのある魅力ある葛飾を実現していきます。

SDGsの推
進について

本年1月、本区はこれまでの区政運営が評価され、日本経済新聞社SDGs先進度調査で全国3位になりました。今後は、「SDGsかつしか」の実現に向け、区民、事業者、職員等への普及と理解促進を図るため、広報紙やSNS等、様々な媒体で啓発を行ってきました。今後は、官民産学の真の協働を推し進め、SDGsを踏まえ、夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けて区政を進めていきます。

第1優先政策

近年全国で水害が発生する中、低い土地の多い本区では、水害対策は重要です。また、木造住宅密集地域が残り、地盤が弱い地域も多く、地震への対策も必要です。災害対策に必要なのは、日ごろからの備えです。準備していないこと、訓練していないことは、本番ではできません。みなさんと協働して、平時の対策を強化します。

政策分野

安心安全な街づくり

第2優先政策

将来に向かって発展し続けるまちづくりのため、少子化と高齢化への対応が必要です。子育てしやすいまちとして評価されていますが、子どもの産みやすい環境づくりも強化します。また健康寿命を延伸し、いつまでも元気で暮らせるまちをつくります。さらに、公共交通を充実し、移動の支援や外出機会の確保を図ります。

政策分野

少子高齢化対策

第3優先政策

本区には、意思や目的を持って地域や社会のために活動している人が多くいます。こうした人たちと区が、あるいはこうした人たち同志が手を携えていくことは、葛飾をさらに発展させる大きな力になります。区がこうした活動をコーディネートし、サポートすることで、さらに活動を広げていきます。

政策分野

協働による街づくり

公益社団法人 東京青年会議所が独自に各候補者へ政策についての質問をしました。いただいた回答を一覧にまとめましたので、各候補者の政策や考え方の違いをご覧ください、政治参加への検討の一助としてご活用ください。

うめだ信利

新型コロナウイルス感染症対策を改善するために、墨田区モデル等先進区の取り組みを積極的に採用し、区内医療機関等との更なる緊密な連携を図り、コロナ禍の中でも、区民が安心して暮らし、学び、働くことのできる体制を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、テレワークやWeb会議の活用などのオンラインサービスが急速に広がっており、テイクアウト、オンラインショッピング、宅配サービスなどへのニーズが高まってきています。など、人々の働き方や暮らし方への意識が大きく変化しています。キャッシュレス化への対応やインボイス制度の導入対策など、ICT、DX（デジタルトランスフォーメーション）を進める区内産業を支援し、かつ、日本一のデジタル自治体を目指します。

SDGsの取り組みは、到底、行政だけではできません。区民との協働による、いつまでも幸せに暮らせるまちづくりの中で、SDGsが目指す経済・社会・環境の全てにおける発展に向け、成長と成熟とが調和した持続可能なまちづくりを進めてまいります。SDGsを持続可能な開発目標とするならば、そもそも再開発ビル（区分所有権の建物）に区役所を整備する発想にはなりません。再開発ビル区役所は、次の建て替えの際は、これまで以上に複雑な権利関係の中で行うこととなり、次世代の区民の皆さまに禍根を残すこととなります。SDGsを考えれば、区役所は区有地に所有権を整備すべきです。

コロナ対策・医療支援は、墨田区モデル等先進区の取り組みを積極的に採用し、改善を図り区民の命を守ります。PCR検査、ワクチン接種の体制をしっかりと整え、並行して陰性パスなどで区内の経済支援も進めてまいります。

コロナ

関連総額348億円の再開発ビルでの区役所整備を見直します。区民の皆さまの約6割が評価していない葛飾区のまちづくり、再開発一辺倒の押し付け的なまちづくりを見直し、地元へのニーズに応えるまちづくりに変えます。

街づくり

学校プールの廃止を見直します。移動時間を考えれば、水泳の授業にしっかりと時間が取れるのか？外部委託業者がプール事業を休止した場合のバックアップ体制も整っていない中で一方的にプールを廃止するのは乱暴過ぎます。教育施設に対する考え方が、私と違っています。片や、ご自分の庁舎整備には約350億円もかけて事業を進めています。

教育

11月5日(金)
18:00~19:00
ニコニコ生放送

